

こらぼよ

“こらぼーよ”とは
Collaboration
コラボレーション
(共同・協働)と
~しようよの組合せ

みんなで
男女共同参画社会実現
に向けて活動しようよ

第40号 2017・春



平成 29 年度「男女共同参画週間」
(6/23~6/29) キャッチフレーズ

“男で○、女で○、共同作業で◎。”

- ◇ セミナー報告「変わりゆく現代社会
〜多様な家族のカタチを考える〜」
- ◇ 名簿は 男女別？ 混合？
- ◇ 出前講座「人間関係が楽になるコミュニケーション」
- ◇ 地域に愛される店に 元気な起業
- ◇ パパも子育てしたい!!
- ◇ 赤ちゃんの駅
- ◇ 「女性のための出前チャレンジ相談」のご案内
- ◇ 新着図書を紹介

6/24
(土)

午後 1 時~3 時

男女共同参画週間記念講演会

ところ 三木市立教育センター 大研修室

内 容 ①ギターライブ (小巻 健さん)

②講演 テーマ 「男女共同参画時代の女と男」

~テレビCMを見ながら考えてみませんか~

講 師 小川 真知子さん (NPO 法人 SEAN 理事長)



三木市男女共同参画セミナー報告

変わりゆく現代社会 ～多様な家族のカタチを考える～

講師 神戸学院大学現代社会学部教授 神原 文子さん

セミナーは3月29日に三木市立教育センターで開催されました。参加者は24人、平日の昼間にもかかわらず、男性参加者の多さと関心の高さに驚きました。

講演は昨年9月に実施された「三木市男女共同参画に関する市民意識調査」の集計及びそこから見てきたことについてでした。

————— 講演の内容 —————

- ◇生活満足度についての調査では、以前は9割が「中級階層」の意識だったが、今は「満足」と「不満」の両極端に分かれる傾向が強い。
- ◇ここ20年で年収は約150万円減っている上、働き方も多様化し、正規と非正規でかなりの差がある。
- ◇「労働力不足」の問題で、女性にももっと出てきて働いて欲しいというのが本音だが、そのためには、解決しないとイケない課題が数々ある。
- ◇三木市では、相変わらず「子どもが小さいうちは母親は仕事を持たず家にいるのが望ましい」に賛成の人が多い。まだまだ「3歳児神話」が根強いが、これは国際社会の中で日本だけだ。



- ◇自分自身が介護を受ける事になった場合、男性は「妻がやってくれるだろう」と楽観的な考えが多い。一方、女性は「夫を頼りにできない」「娘や嫁にさせたくない」ので「介護サービスを頼む」が圧倒的に多い。

三木市に住む私にとって、大変興味深い調査結果についての講演でした。

その後グループワークを行いました。テーマは、①トランスジェンダー(※注)の方にトイレの場所をたずねられたらどう答えますか？ ②学校の児童・生徒名簿は男女別か男女混合か、どちらがいいですか？ ③男らしさ、女らしさの条件を3つ言ってください、でした。

正解はないかもわかりません。男女共同参画を考える一つのきっかけになればいいと思います。(編集委員：M)

〔※注 生まれた時の性別と、自分が認識している性別が異なる人のこと〕

名簿は男女別？混合？

この春、長男が中学校に進学しました。親子ともに分からないことだらけの中学校で緊張して迎えた入学式でのこと。大きめの制服に身を包んだ新入生が入場し、保護者席から見て左側に男子が、右側に女子が着席しました。

中学校では男子と女子がきれいに2つに分けられ、名簿は男子が先で、女子が後なんです。小学校では男女混合名簿だったので、時代がさかのぼったような感じを受けました。

子どもは特に違和感なく、中学校ではこういうものだとしんがり受け入れているようですが、そもそも小学校で男女混合名簿にした目的は何だったのでしょうか。男性優位の価値観を払拭するだけではなく、性的マイノリティの方への配慮という観点からも必要だと思っていたので、残念でなりません。

いろいろな考え方があっていいとは思いますが、せめて義務教育の9年間は小中・一貫した考え方が大切ではないのかな、と思いました。(編集委員：F)





男女共同参画セミナー出前講座 —実践から学ぼう—



三木市男女共同参画センターが市内各地で行うセミナーの本年度第1回目の出前講座が、4月26日に吉川町公民館で開催されました。

この日のテーマは「人間関係が楽になるコミュニケーション」。コミュニケーションサポーターで講師を務めた横山由紀子さんが、伝え方ときき方について話され、特に相手の言いたいことを受け止めることの大切さを訴えられました。

きき方としては、①耳で聞く ②口で訊く ③心で聴く の3つがあり、それぞれで違いがあること。また、相手が思わず話したくなるきき方は、①目を見る ②うなずく ③相づちを打つ ④否定しない ⑤アドバイスしない ⑥最後まで聴く といったシンプルなもの、すぐにでも実践できる“きき上手のコツ”に参加者は熱心に耳を傾けていました。

出前講座は、今後、各地区公民館を会場に随時実施しますので、近くで開催される際にはぜひご参加ください。(編集委員：T)

地域に愛される店に 元気な起業



iPhone修理・アクセサリー店「ディースマート三木店」が、神戸電鉄緑が丘駅近くにオープンしました。店に入ると可愛いケースやアクセサリーが壁一面に並び、金髪に可愛いネールでとてもおしゃれな店主の井上舞香さんが笑顔で迎えてくれました。

井上さんは、神戸でiPhoneの修理の技術を学ぶかたわら、店頭での相談や販売の実績を積んでいましたが、重要なポストを任されるようになった頃に、勤めていた店舗が閉店することになりました。転職や部署の異動で仕事内容が変わることよりも、しっかり学んだ技術が生かせる「修理と販売」を中心にした店を始めようと考えました。起業するに当たって、前の職場の上司の応援、知人や両親の賛成もあり、井上さんは前へ進みました。

思い描いた店の実現のためには、三木市中小企業サポートセンターなどのアドバイスで、店舗の家賃や内装費の助成を受け準備されたそうです。

井上さんのモットーは、前の職場で学んだ「お客様第一主義」。お客様の言葉に丁寧に耳を傾け、相手の立場に立った提案をし、納得の上での修理を心がけておられます。以前のお客

様がわざわざ店を探して訪ねてくれることもあるそうです。どんな状況でも、相手のことを考える姿勢が、お客様の

心にしっかり根をおろし、「また来店しよう」との気持ちを起こさせるのでしょう。「開店してまだ半年、長く店を続けていくには目先の利益だけにとらわれず、人と人とのつながりを大切にしています」とのことです。

起業を考えている人には、「中小企業サポートセンターなどへ相談に出向きましょう、女性や若者対象の様々な助成金などの情報や専門家のサポートが得られます。夢の実現への第一歩です」とのアドバイスがありました。

さらに、起業した若い仲間たちの店で使える共通ポイントカードを企画したり、子どもとスマホについての問題にも関心を持っているそうです。お店では、スマホ全般の相談や、予約制の「ワンコイン・スマホ教室」もあり、地域の人たちにとっても、便利で嬉しい存在になっています。(編集委員：S)



パパも子育てしたい！！

先日、現在子育て中の夫婦から「最近授乳室を備えている施設や店舗がたくさんあって、とても助かっているんだけど、大きな店舗の授乳室は個室じゃないので『男性の方はご遠慮ください』って書いてあるんだー」という話を聞きました。

ミルクで育てている赤ちゃんの場合は、男性でも授乳ができます。お父さんと赤ちゃんでお出かけした場合、授乳はどこですればよいのかな。また、夫婦と赤ちゃんでお出かけした場合、お母さんが授乳中にお父さんは一人でどこにいればよいのかな、と疑問に思いました。

最近男性トイレにも個室に赤ちゃん用のイスが備えてあったり、おむつ替え用のスペースがあるところも増えてきていると聞いています。

授乳＝女性ではなくて、授乳室を個室にするなど、男性も気兼ねなく利用できる施設が増えるといいのにな、と思いました。(編集委員：H)

赤ちゃんの駅

授乳やおむつ交換などにご利用いただける「赤ちゃんの駅」をご存じですか？

現在、三木市内には公共施設の他、コンビニやスーパーマーケットなど、70か所以上の「赤ちゃんの駅」が設置されています。

「赤ちゃんの駅」にはステッカーが掲示されており、無料でご利用いただけます。

利用時間等は施設によって違いますので、各施設にお問い合わせください。



女性のための 出前チャレンジ相談

❖内容…再就職、起業、働き方の見直し、地域活動やボランティアを始めたい、などの相談

❖日時…平成29年7月18日(火)
① 9:00～9:50
② 10:00～10:50
③ 11:00～11:50

❖場所…男女共同参画センター
❖募集…女性3人(先着・要申込)

※一時保育あり(1歳以上～就学前までのお子さん。7月3日までに要申込)

❖相談員…飯鉢 ひとみ
キャリアコンサルタント
産業カウンセラー

●●新着図書を紹介●●

『自分らしく生きる

～性別違和を乗り越えて～

清水 展人 著 2016年

幼い頃から女性という自分の性別に違和感があり、高校まで誰にも言えずに悩み続けた著者。現在は男性として結婚し、LGBT 電話相談などを続けるかたわら、積極的に講演活動も行っています。彼の半生を綴った手記は同じ悩みをもつ方や家族の希望になるとともに、当事者への理解を深める一冊となることでしょう。



『シングルマザー365日サポートブック』

しんぐるまざあず・ふぉーらむ 編著 2016年

先輩シングルマザーたちと専門家たちが、法律やお金のこと、子育て、仕事、メンタルヘルス、福祉サービスなど、さまざまな悩みや疑問に詳しく答えてくれます。シングルマザーの生活をサポートしてくれる一冊です。



三木市男女共同参画センター 愛称 “こらぼーよ”

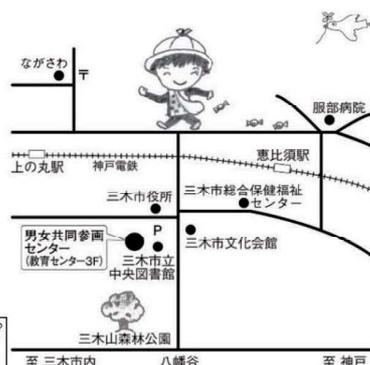
三木市福井 1933-12
三木市立教育センター3階
(三木市立中央図書館西隣)

TEL&FAX : 0794-89-2331

開館時間 : 9:00～17:00

休館日 : 土・日・祝日・年末年始

企画・編集 : 情報誌“こらぼーよ”編集グループ
発行 : 三木市男女共同参画センター



編集後記 《或る新任職員のつぶやき》

「ダンジョ・キョードー・サンカク」お固い言葉ですが中身は至ってシンプル。この世の中において性別にかかわらず、すべての人が仲良く、△でも口もなく、○く楽しく暮らしていきましょう、ということなのです。

肩肘を張らず、心を緩め、自分と同様に他人も大切に、一人ひとりが豊かな人生を送ることが男女共同参画社会の実現につながるのです。

とはいうものの、現実はどうでしょうか？そのギャップを考えてみるのもいいことかもしれません。まず第一歩を踏み出してみませんか。(T.F)